

三菱マテリアル株式会社

経営説明会



本社（経団連会館/大手町）

Materials Premium 2016

～NO.1企業集団への挑戦～

2016年6月29日

経営戦略部門 経営企画部
部長（執行役員） 佐々木 晋

複合事業経営体制：安定的・持続的成長を図る



セメント

- ・石灰石
- ・セメント
- ・生コンクリート



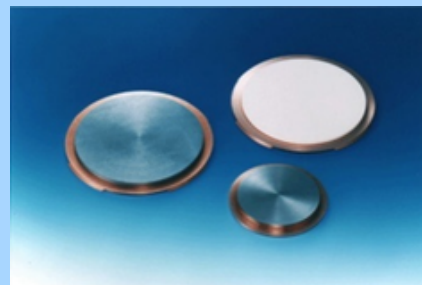
金属

- ・電気銅
- ・金、銀、鉛、錫等
- ・硫酸
- ・銅圧延、加工品



加工

- ・超硬工具
- ・焼結部品



電子材料

- ・機能材料・化成品
- ・電子デバイス
- ・多結晶シリコン

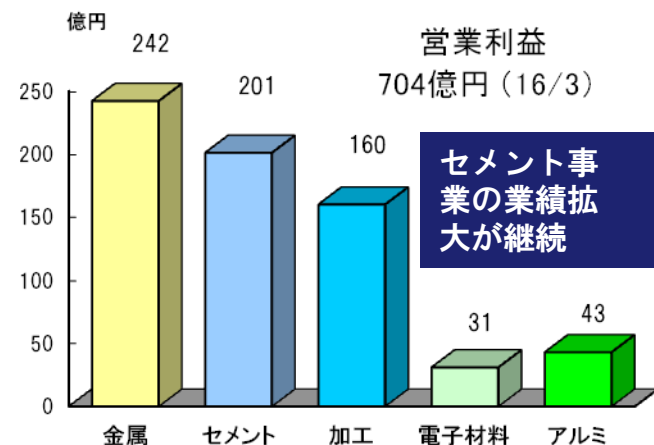
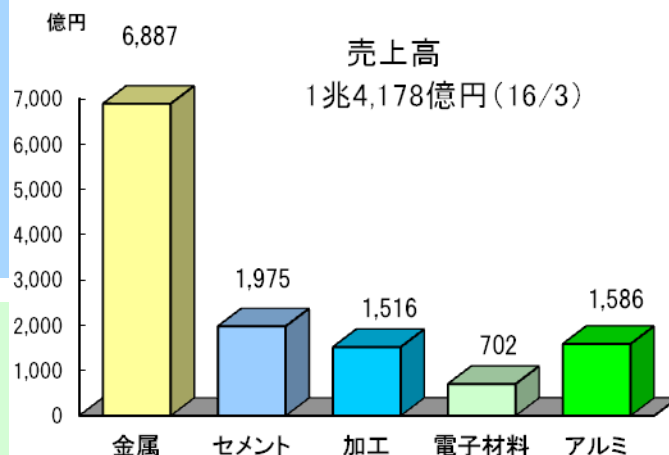
アルミ



- ・ユニバーサル製缶（缶）
- ・三菱アルミニウム（加工）

その他

- ・環境・エネルギー
- ・その他



セメント事業の業績拡大が継続

長期経営方針 概要（2020年代初頭に向けての方針）

企業理念

人と社会と地球のために

ビジョン

私たちは、ユニークな技術により、地球に新たなマテリアルを創造し、循環型社会に貢献する**No.1企業集団**を目指します。

事業規模イメージ

売上高2兆円以上、純利益1,000億円以上

セメント事業

- ◆ROA業界世界No.1
- ◆環太平洋地域におけるメジャープレーヤー

加工事業

- ◆超硬製品世界シェア10%超
- ◆高機能製品ROS業界No.1

資源・リサイクル

ユニークな技術

金属事業

- ◆権益鉱比率50%
- ◆金銀滓(E-Scrap)処理量世界No.1
- ◆銅加工収益性世界No.1

電子材料事業

- ◆世界No.1製品群を有する高収益事業体

アルミ事業

- ◆熱交換器用押出多穴管世界シェアトップクラス
- ◆飲料用アルミ缶国内シェアトップクラス

加工品

素材

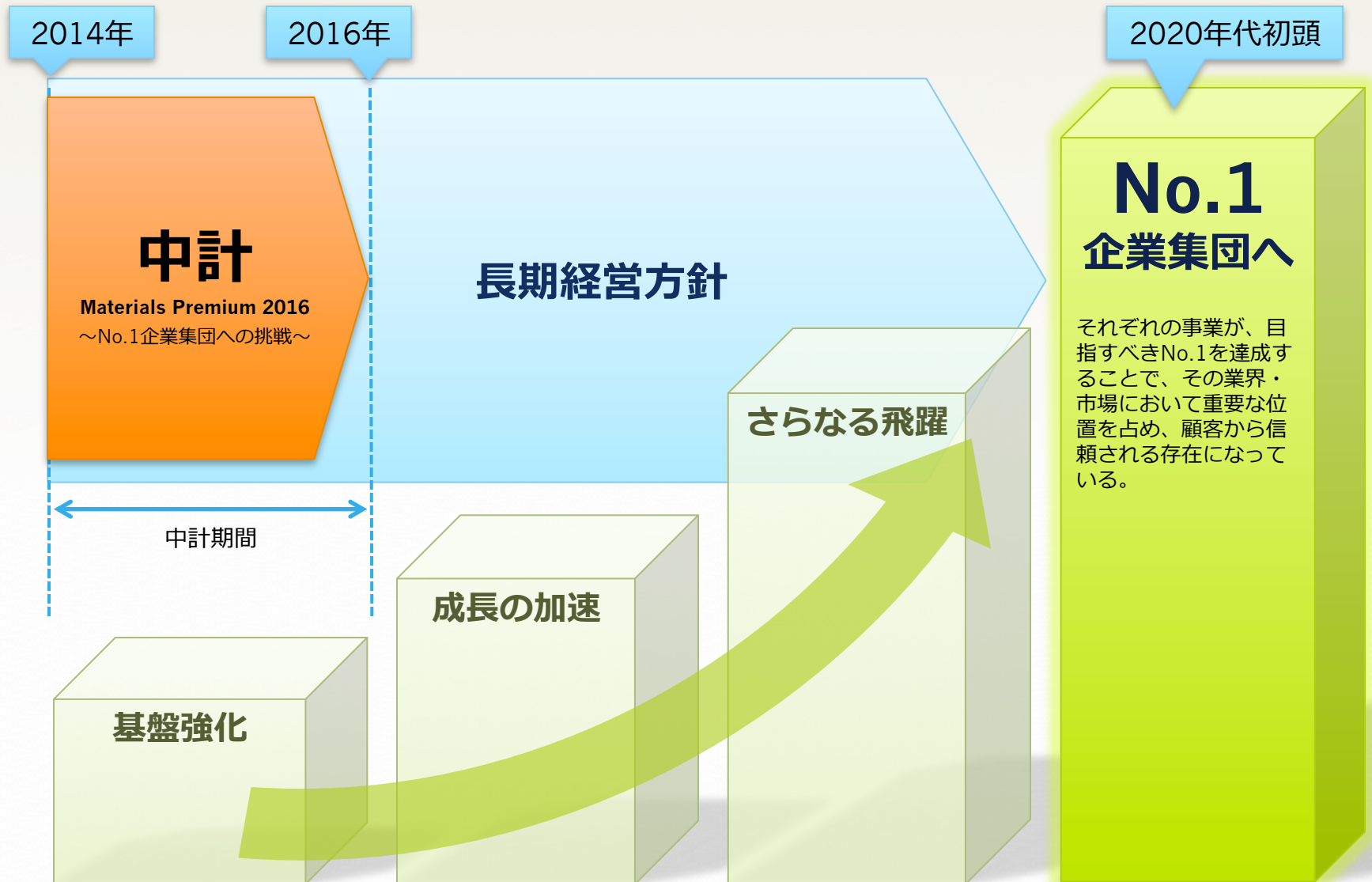
持続的成長

グローバル戦略

人材戦略

技術・開発戦略

中期経営計画の位置付け



中期経営計画 概要

中期経営計画（2014-2016）

Materials Premium 2016 ～No.1企業集団への挑戦～

経営目標

	1年目実績 (2014年度)	2年目実績 (2015年度)	3年目予想 (2016年度)	最終年度計画 (2016年度)
● 営業利益	718億円	704億円	680億円	1,000億円
● 経常利益	810億円	724億円	680億円	1,100億円
● ROA（総資産経常利益率）	4.4%	3.9%	—	6%
● ネットDEレシオ（財務体質改善）	1.0倍	0.8倍	0.9倍	1.0倍以下

成長戦略

- 成長基盤の強化（戦略投資枠1,000億円の設定）
- グローバル競争力の強化（海外生産・販売拠点等の拡充）
- 循環型ビジネスモデルの追求（当社ならではのリサイクル事業を追求）

成長戦略 - 循環型ビジネスモデルの追及

日本最大規模の環境リサイクル事業

製錬所



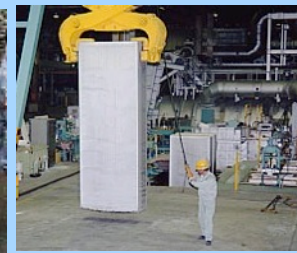
セメント工場



廃家電



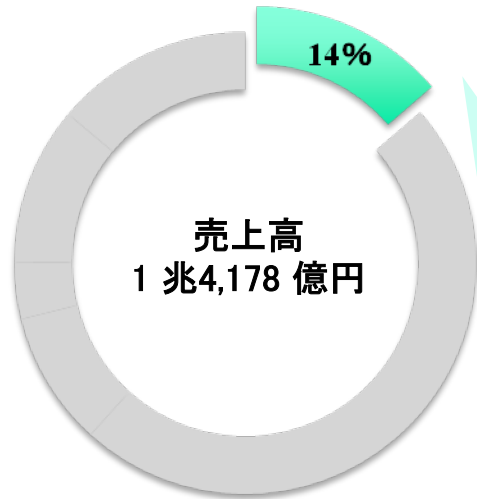
アルミ缶



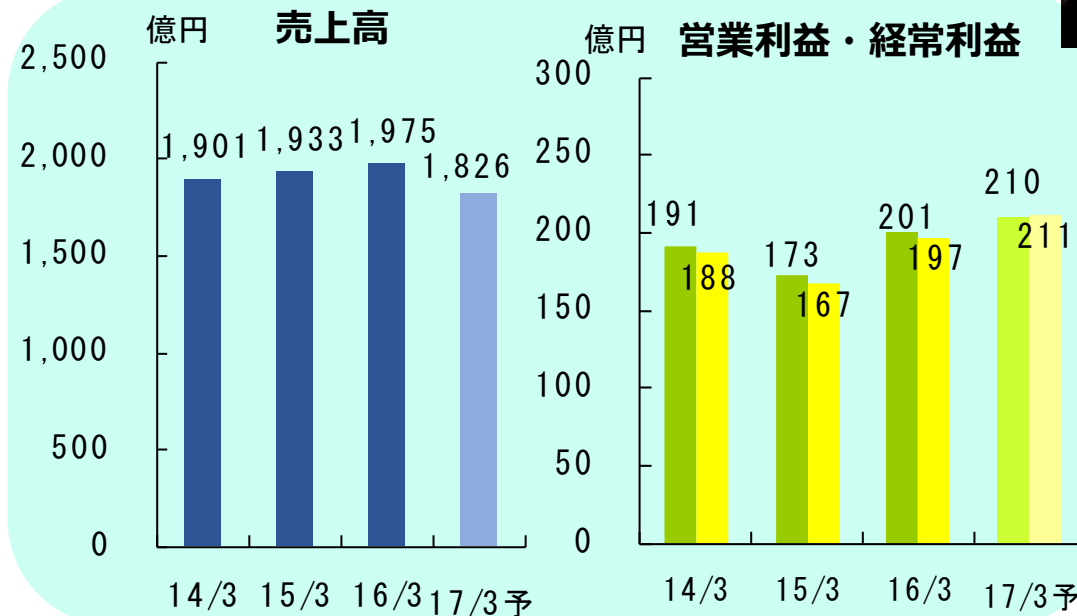
超硬合金



セメント事業 *Cement Company*



売上高比率(2016年3月期)



1

環太平洋地域のメジャープレーヤー

2

宇部三菱セメント国内シェア2位

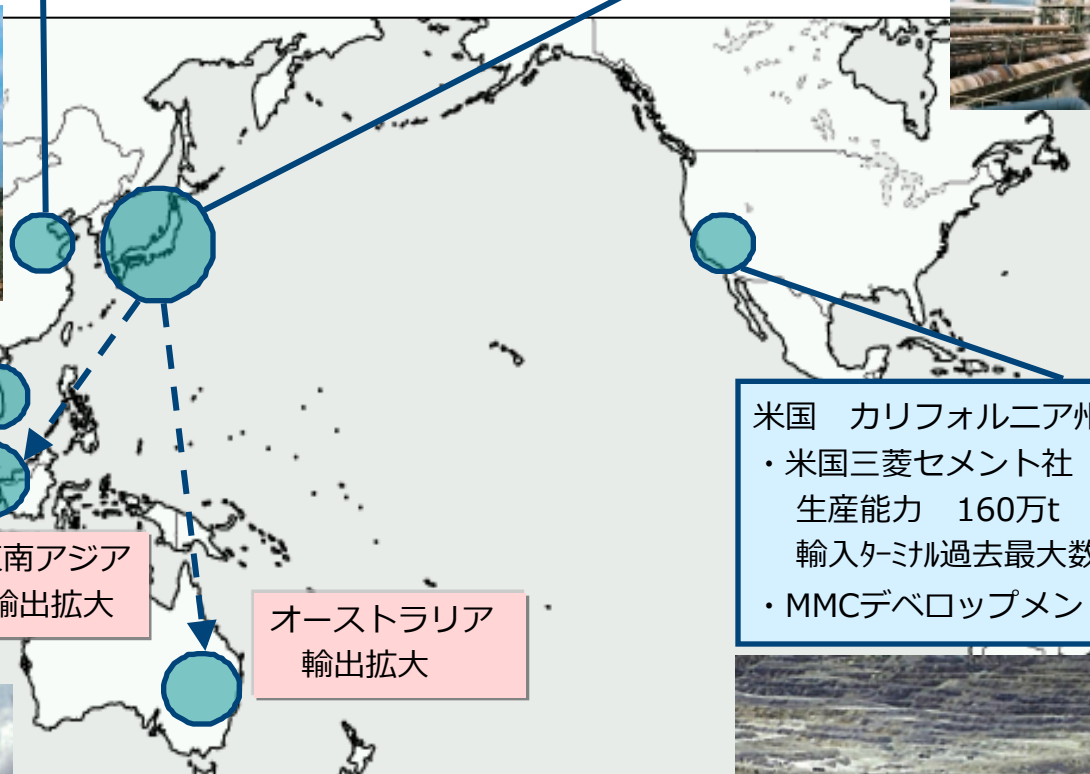
3

南カリフォルニア生コンシェア1位

環太平洋地域のメジャープレーヤー

- ・工場：山東省烟台
生産能力 140万t/年
- ・ターミナル：青島

- ・工場：九州、横瀬、岩手、青森
生産能力 約830万t
- ・販売：宇部三菱セメント社



- ベトナム
生産能力 435万t/年
当社出資 19.5%

東南アジア
輸出拡大

オーストラリア
輸出拡大

- 米国 カリフォルニア州
- ・米国三菱セメント社
生産能力 160万t
輸入ターミナル過去最大数量 135万t
- ・MMCデベロップメント(生コン・骨材)



セメントができるまで（廃棄物リサイクル強化）



東谷鉾山（福岡県）

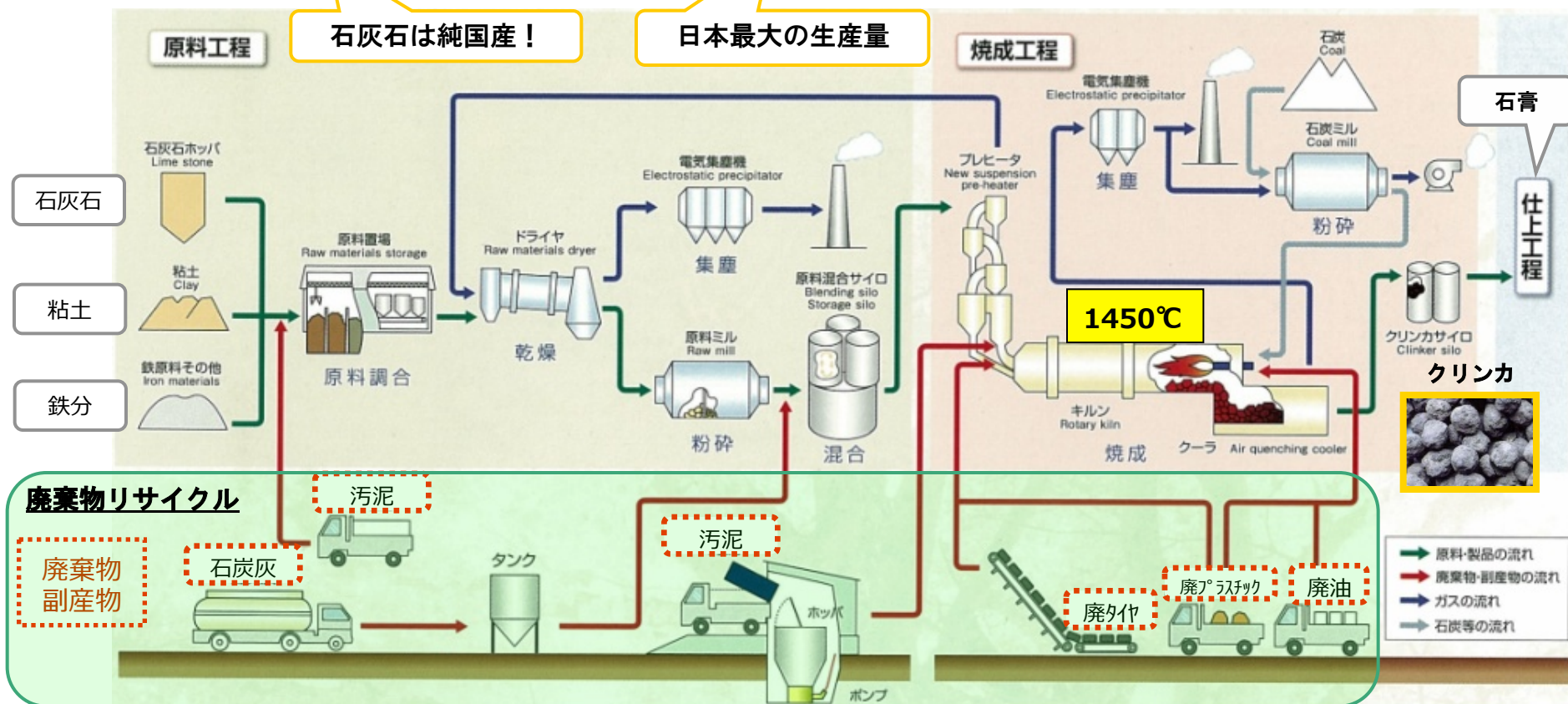


九州工場（福岡県）



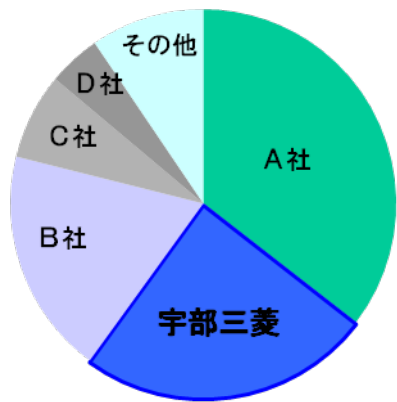
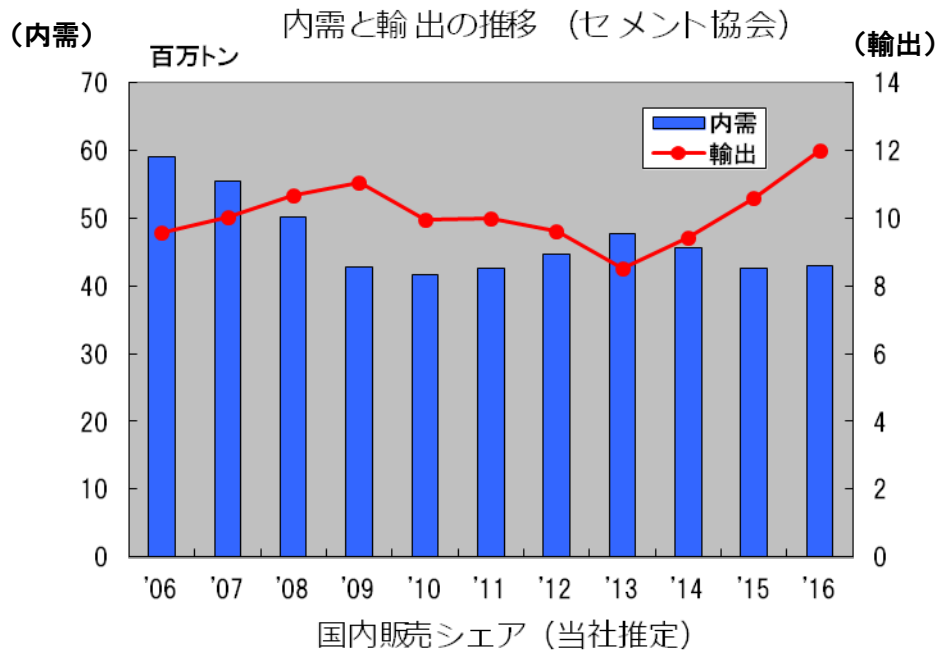
米国・RRM社

南カリフォルニアでトップシェア



国内事業

- ◆東京オリンピックやリニアモーター新幹線建設による国内需要増へ対応。
- ◆リサイクル事業のさらなる強化。



当社産業廃棄物受入実績 (リサイクル) (単位:千トン/年)



建設発生土



廃石膏ボード



廃プラスチック

種 類	受入量 (14年度)
廃油	4
廃タイヤ	22
高炉スラグ等	1,215
鑄物砂等	55
燃殻、煤塵	127
石炭灰	1,374
汚泥、スラッジ等	314
副産石膏	378
廃プラスチック	67
その他	533
合 計	4,088
セメント1トン 当り使用量	421kg

米 国 事 業

◆セメント・生コンの一体運営が特徴。一層の事業拡大を推進していく。

米国三菱セメント社 : セメント事業

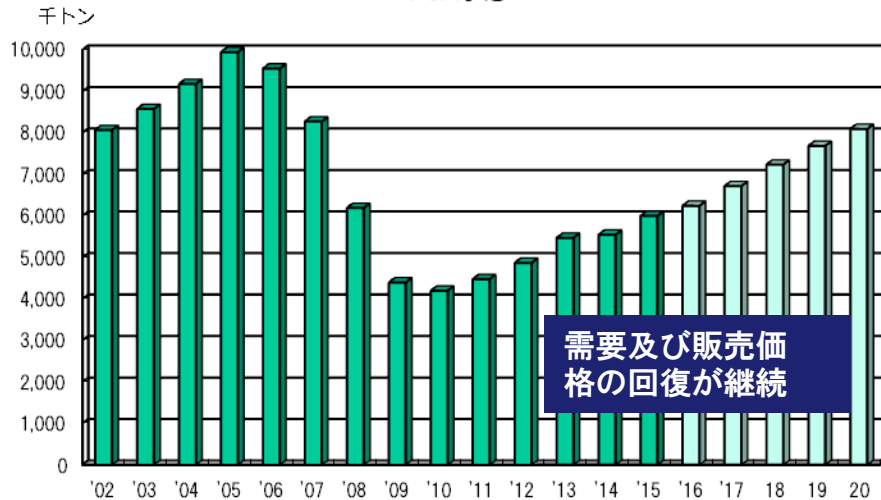
生産能力 160万t

輸入ターミナル過去最大数量 135万t

MCCデベロップメント社 : 生コン・骨材事業

- ・ 需要は2011年より回復に転じた
- ・ 人口増加、景気回復により持続成長

需要推移 (南カリフォルニア)
PCA予想



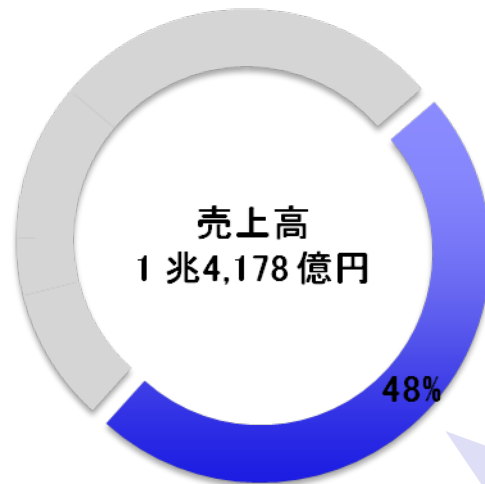
▼ クッシェンベリー工場



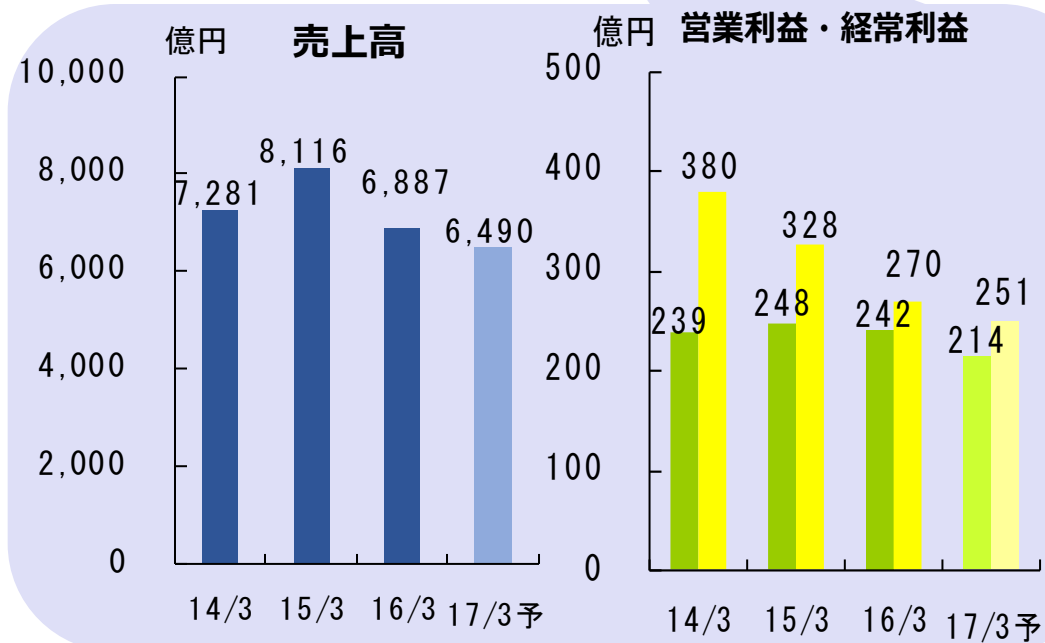
▼ ロングビーチターミナル



金属事業 *Metals Company*



売上高比率(2016年3月期)



1

【銅鉱山】
鉱山からの鉱石安定調達、配当収入

2

【銅製錬】
E-Scrap処理世界シェア1位

3

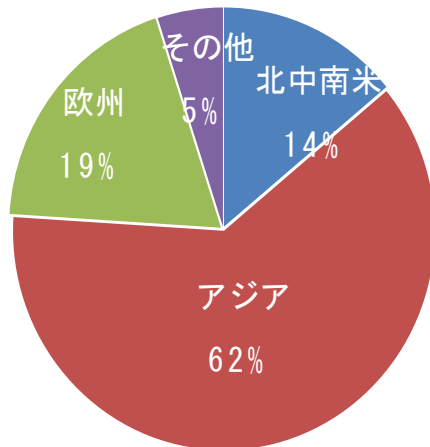
【銅加工】
板条生産量国内シェア1位(三菱伸銅)

銅価格及び鉱山からの配当金収益の状況

銅は国際商品。10～20年の長期スパンで推移

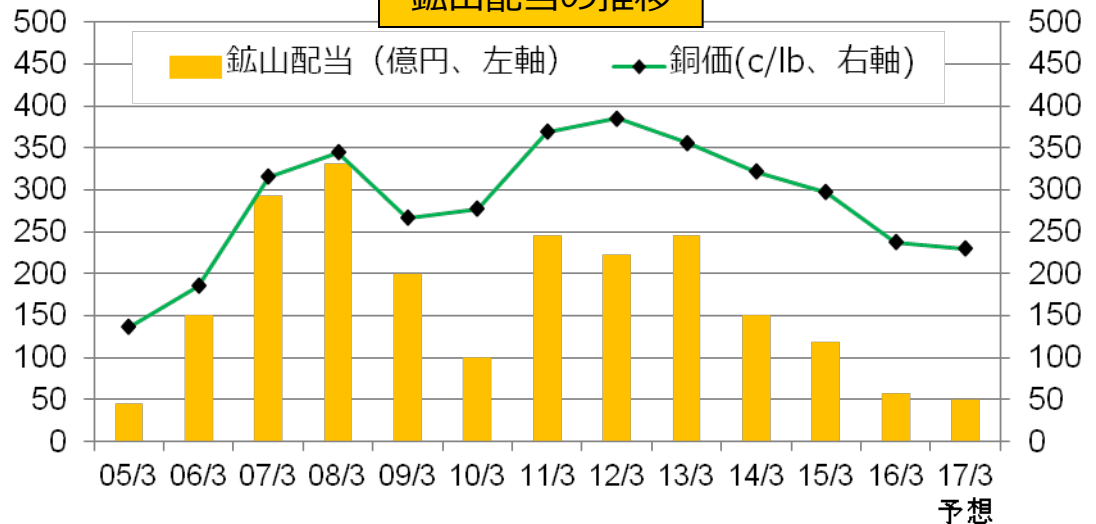


世界の地域別銅消費量



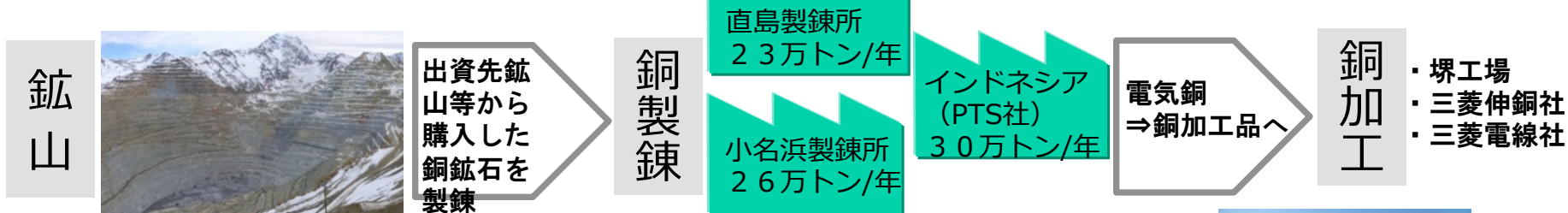
(International Copper Study Group 2015)

鉱山配当の推移



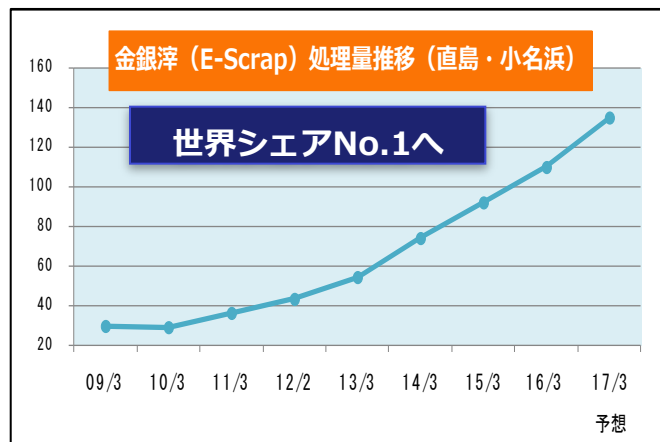
銅製錬（リサイクル強化）

金属事業の事業体制

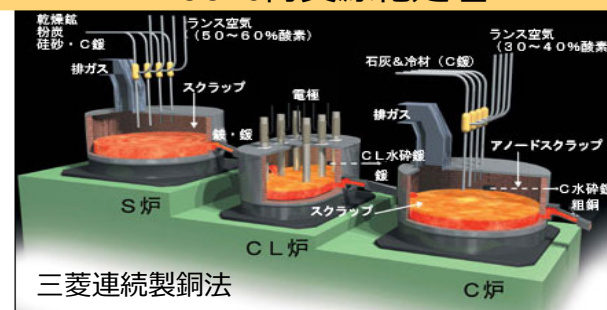


◆ 強みであるリサイクル事業を強化（製錬）

16/4月に直島製錬所金銀滓（E-Scrap）受入・処理能力の増強を完了



100%再資源化处理

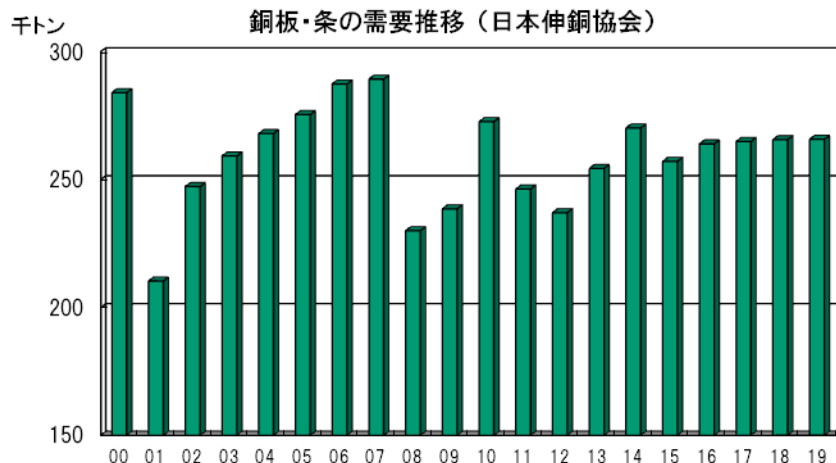


銅加工（自動車・半導体向け強化）

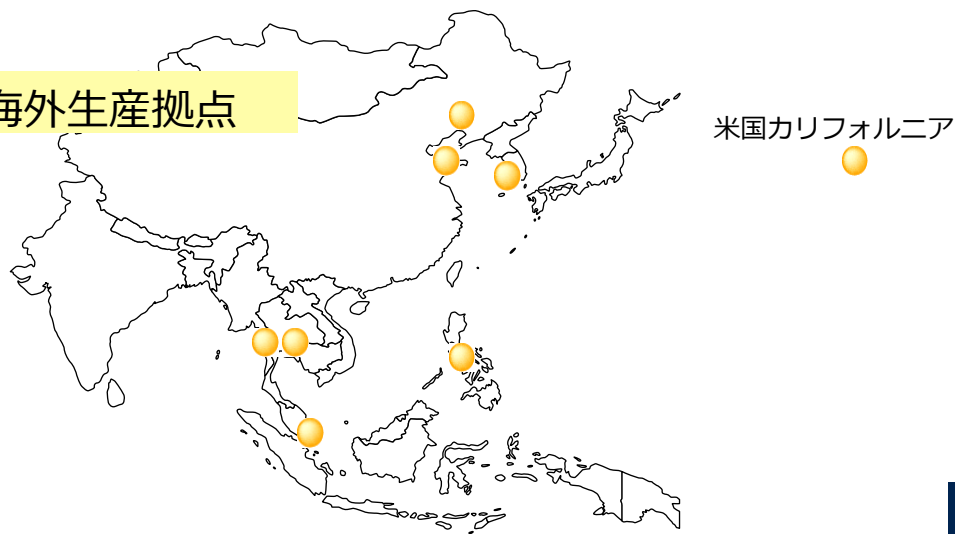
◆世界トップクラスの伸銅会社（子会社に三菱伸銅社等）

自動車、半導体向け製品の拡大

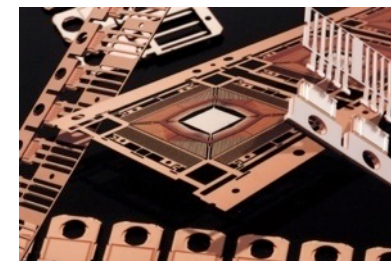
新興国ボリュームゾーン市場への拡販



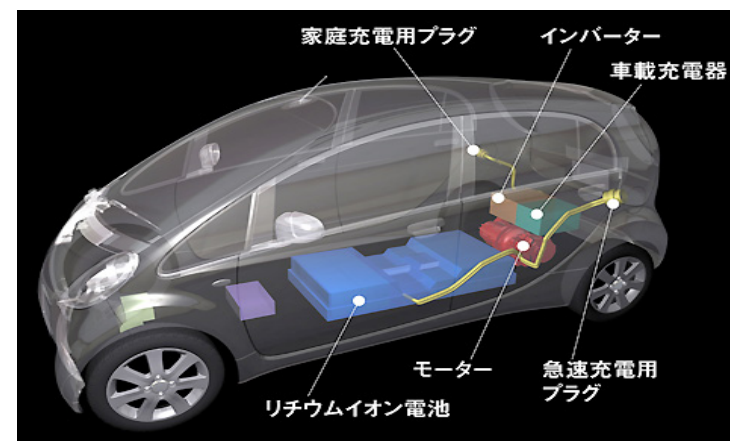
海外生産拠点



自動車用コネクタ

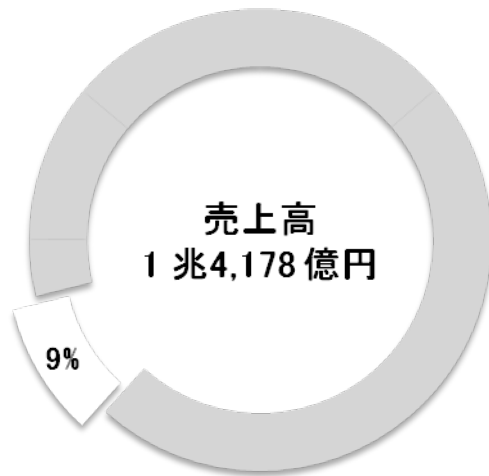


半導体用リードフレーム

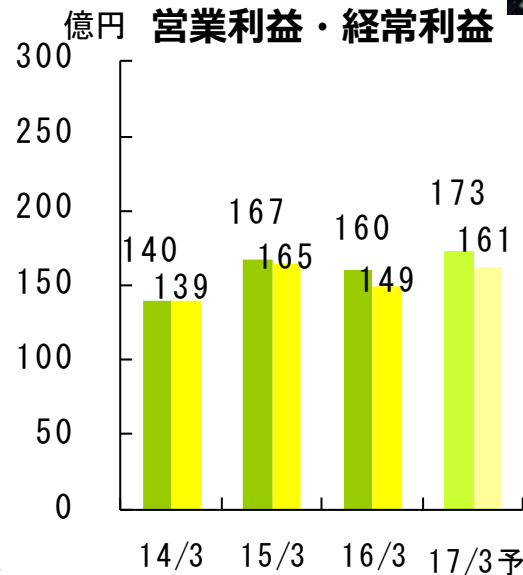
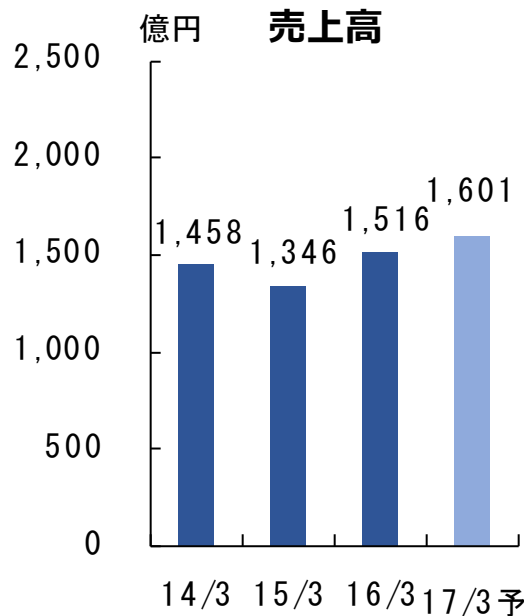


車 1 台当り銅使用量（推定）

ガソリン車	20～30kg
ハイブリッド車	50kg
電気自動車	60kg



売上高比率(2016年3月期)



- 1 超硬工具世界シェア4位(国内1位)
- 2 グローバルで拠点を拡充
- 3 自動車、航空機、医療分野を強化

超硬切削工具とは



機械加工に不可欠な工具

タングステン原料から一貫生産

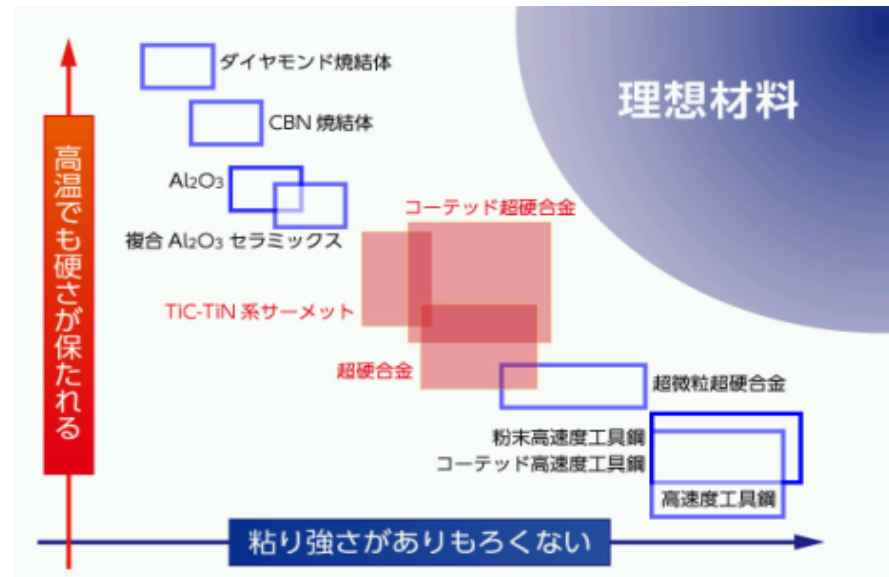
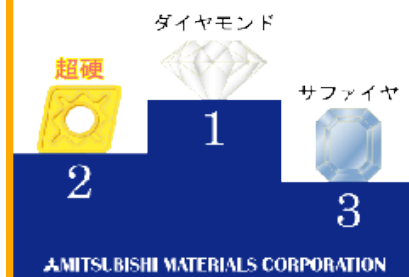
リサイクル強化

この工房でお客様とともに考え、
創り、感動を分かち合い、
お客様一人ひとりに合わせた
ベストなソリューションとサービスを提供していく。

あなたの、世界の、総合工具工房。
YOUR GLOBAL CRAFTSMAN STUDIO
三菱マテリアル



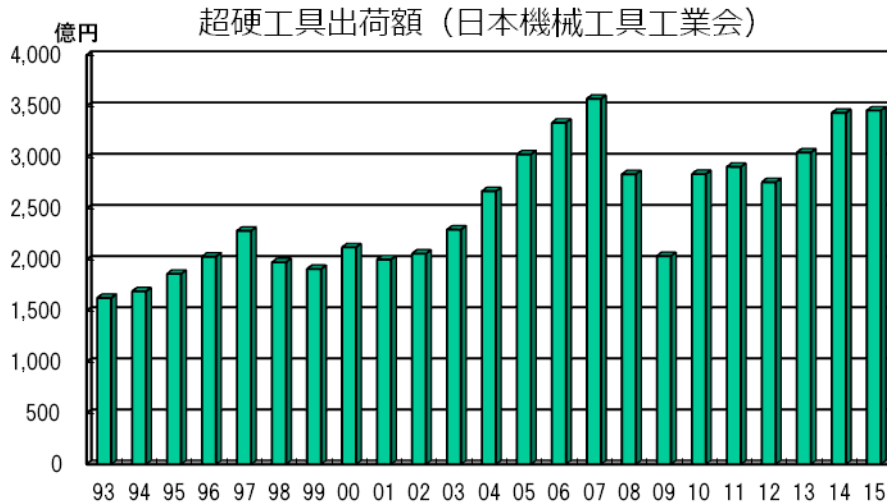
YOUR GLOBAL CRAFTSMAN STUDIO



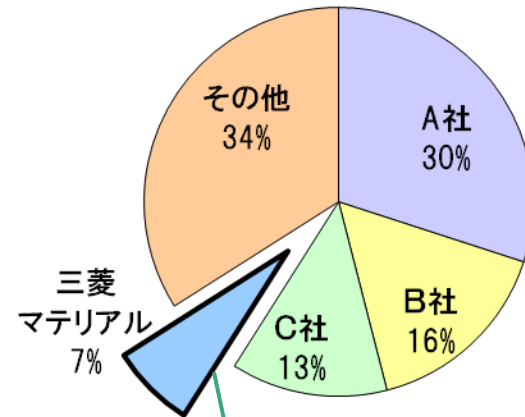
MITSUBISHI MATERIALS CORPORATION

超硬製品事業の状況

◆世界シェア4位。グローバルで事業拡大中。



超硬工具の世界シェア（推定）



長期的には世界シェア10

日立ツール社を買収し、2015年4月より連結子会社化

超硬製品ネットワーク拡大（2014-2016年度）

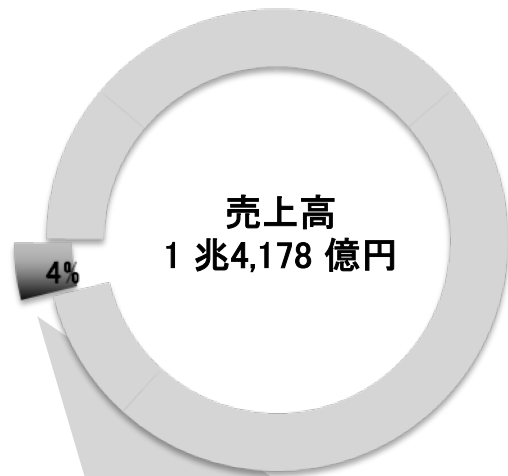
● 新規販売網※ ● 既存販売会社

※ 海外販社、支店・事務所の新設、新規代理店の起用

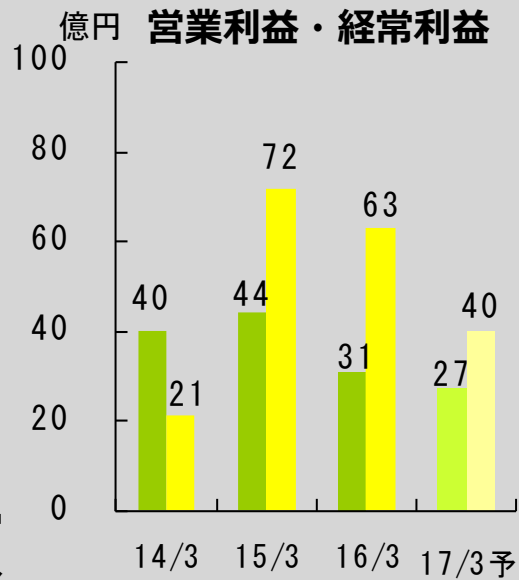
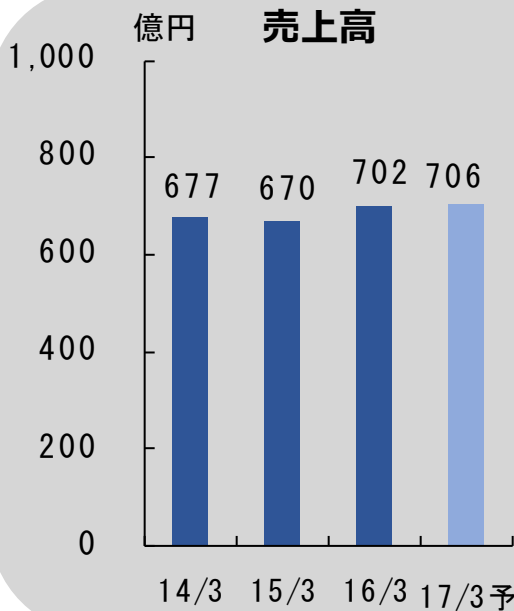


<中計期間の事業戦略>

- ・ 産業別チームによる自動車、航空機、医療分野への拡販
- ・ 新興国を中心とした販売網、生産拠点の拡充
- ・ タングステンのリサイクル拡大



売上高比率(2016年3月期)

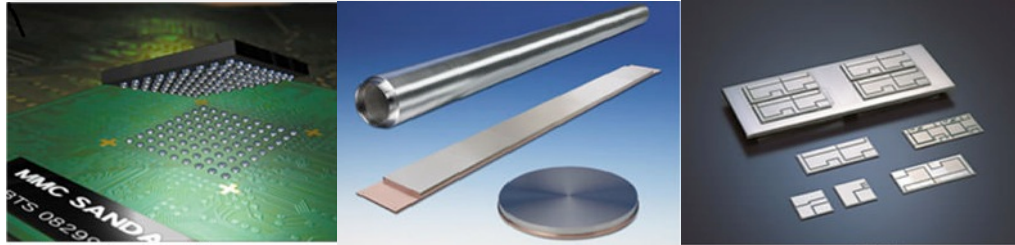


- 1 世界シェアNo.1製品群
- 2 半導体グレード用多結晶シリコン
(世界シェア4位)

電子材料の主要3事業

機能材料・電子デバイス⇒世界シェアNo.1製品群

機能材料（半導体分野）



低α線はんだMULaS

スパッタリングターゲット

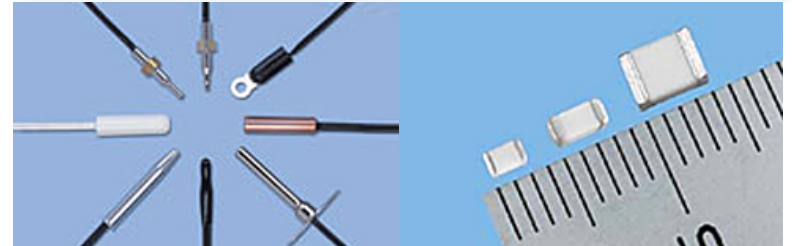
DBA基板

半導体実装
(スマートフォン等)

有機ELディスプレイ
太陽電池

ハイブリッドカー
電鉄 産業機器

電子デバイス（家電・車載分野）



サーミスタ

アブソーバ

白物家電
(エアコン、冷蔵庫)

通信機器、自動車

シリコン⇒半導体グレード品

シリコン

多結晶シリコン

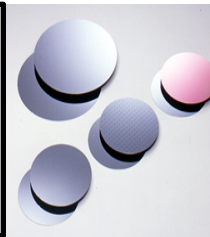
四日市 : 2,800t
米国アラバマ州 : 1,500t



▲純度11N
(99.999999999%)

単結晶、ウェーハ

(SUMCO社)
当社保有比率 約18%



半導体



アルミ事業 *Aluminum Division*

ユニバーサル製缶社

飲料用アルミ缶トップクラス



ボトル缶市場の拡大が

▲アルミ飲料缶（左：ボトル缶、右：通常缶）

アルミ缶のリサイクルについて

日本のアルミ缶需要量202億缶（312,950トン）



当社グループは、日本で唯一、グループ内でのCan to Canリサイクルが可能

リサイクル率 87.4%

（2014年度、アルミ缶リサイクル協会）

三菱アルミニウム社

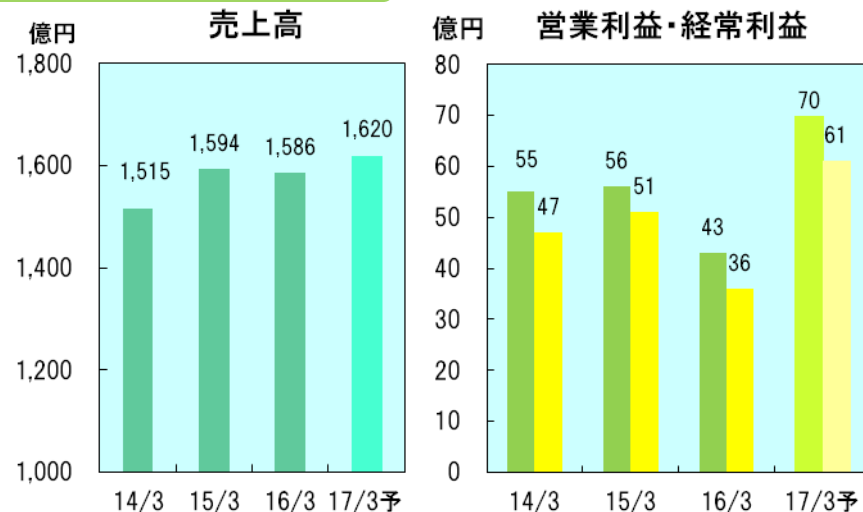
缶材、自動車等



▲自動車用熱交換器

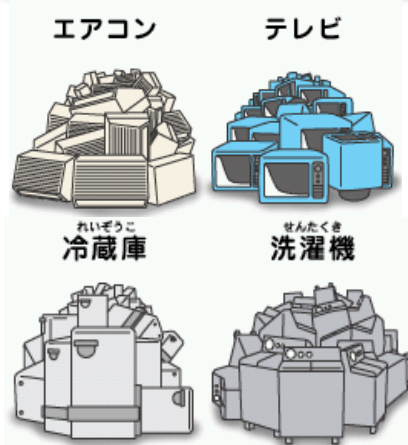
世界シェアトップクラス

アルミ事業の連結業績



家電メーカー各社と共同で事業推進

5社6工場で国内回収量の約20%を処理、再資源化



回収
分解



再商品化率
87%※
(5社6工場)

※2015年度実績

都市鉱山

金、銀、銅、アルミ、鉄
レアアース磁石など



地熱発電量国内No.1を目指し、新規発電所の建設を促進



▲澄川地熱発電所 (50,000kW)

↑写真提供：東北電力(株)



▲大沼地熱発電所 (9,500kW)

日本には18ヶ所の地熱発電所
総発電出力約50万kW
当社2ヶ所で約6万kW (約12%)

山葵沢地熱発電所 (秋田県) ⇒建設中
安比地域 (岩手県) ⇒環境影響評価中

人と社会と地球のために ～事業を通じて震災復興や循環型社会に貢献～



基礎資材供給

- ◆ 建設・土木用資材
セメント、生コン、
護岸用ケーソンなど
- ◆ 建設・電力用銅線
各種伸銅品、
通信ケーブルなど

岩手工場（セメント）



震災瓦礫処理

- ◆ 岩手工場で震災廃棄物
（廃木材・廃プラなど）
を処理
- ◆ （埼玉県）横瀬工場
、青森工場でも受入
処理

※14年3月までで終了

除染事業



- ◆ 原子力エンジニアリングや放射線管理
に関する技術・装置を応用して
福島県域の環境修復事業に参画

再生可能エネルギー事業

澄川発電所

写真提供：東北電力(株)



小又川第一水力発電所



入釜太陽光発電所



- ◆ 地熱
- ◆ 水力
- ◆ 太陽光

16年度業績予想

■ 売上高	1兆3,600億円	(前年度比 △578億円)
■ 営業利益	680億円	(// △24億円)
■ 経常利益	680億円	(// △44億円)
■ 当期純利益	250億円	(// △363億円)

ハイライト(前年度対比)

◆セメント、加工、アルミで増益を予想するが、銅価下落、円高が響く金属事業の減益等により、営業利益、経常利益ともに減益予想。

純利益は環境対策費用の計上及び投資有価証券売却益の減少等により減益。

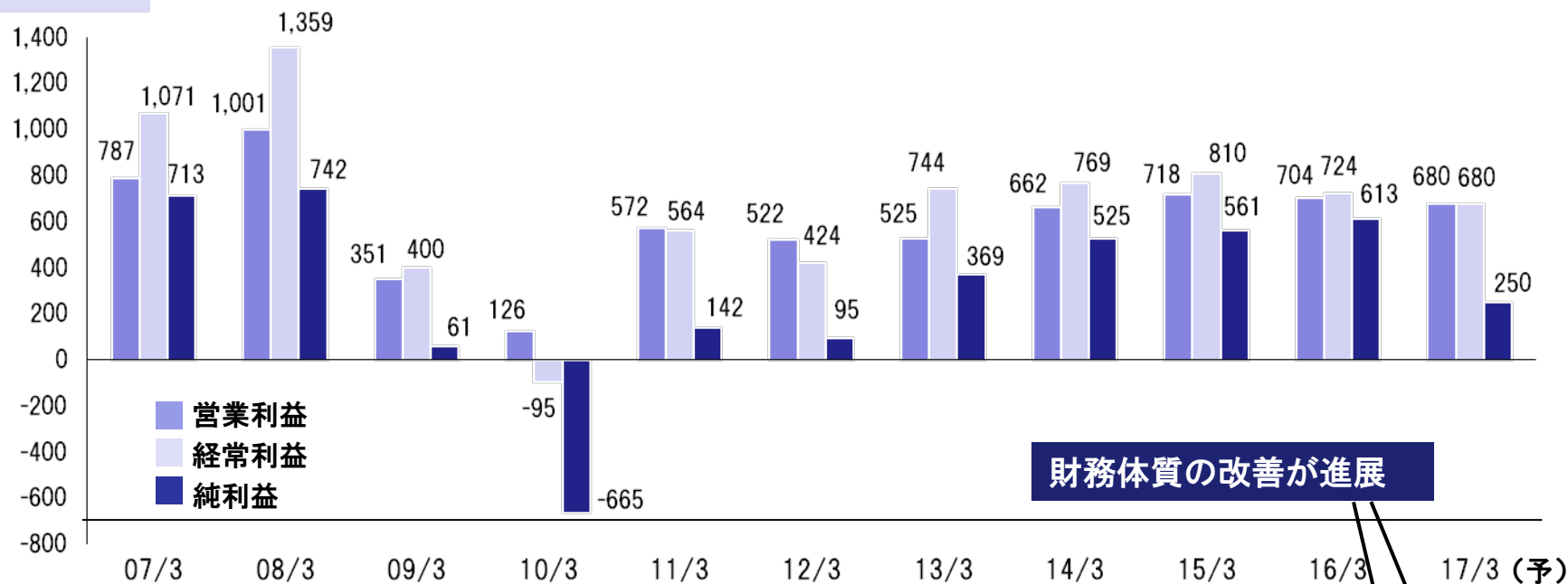
- ・セメント：米国事業の伸長により経常増益
- ・金属：銅価下落、円高により経常減益
- ・加工：超硬製品の増販により経常増益
- ・電材：持分法損益の悪化により経常減益
- ・アルミ：原料費改善及びボトル缶販売増により経常増益

業績推移

売上高 (億円)



利益 (億円)



財務体質の改善が進展

ネットDEレシオ	1.5倍	1.3倍	1.7倍	2.1倍	2.0倍	1.8倍	1.6倍	1.3倍	1.0倍	0.8倍	0.9倍
自己資本比率	23%	25%	21%	19%	19%	20%	22%	26%	29%	31%	未定
配 当	6円	8円	4円	0円	2円	2円	4円	6円	8円	10円	6円_
配当性向	9.9%	13.5%	83.1%	—	18.4%	27.4%	14.2%	15.0%	18.7%	21.4%	31.4%_

私たちは、ユニークな技術により、
地球に新たなマテリアルを創造し、
循環型社会に貢献する
No.1 企業集団を目指します。



人と社会と
地球のために



MITSUBISHI
三菱マテリアル